

武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会（第2回） 令和5年度 武蔵野市地域自立支援協議会（第2回親会） 会議要録

日時：令和5年6月26日（月）午後6時30分～8時40分

場所：市役所4階412会議室

次 第

1. 開 会

2. 配布資料確認

3. 議 事

障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会

(1) 障害者手帳所持者数の推移について【資料1】

(2) 障害者福祉関連決算の推移について【資料2】

(3) 第6期障害福祉計画・障害児福祉計画

目標値に対する令和3、4年度の実績について【資料3】

(4) 団体ヒアリングの結果について【資料4】

(5) 計画策定にあたって～改定のポイントと論点～【資料5】

地域自立支援協議会

(1) 令和5年度・令和6年度の武蔵野市地域自立支援協議会専門部会について
【資料6】

(2) 武蔵野市地域自立支援協議会専門部会の開催要領について【資料7】

4. その他

(1) 次回日程について【資料8】

(2) その他

5. 閉会

配付資料

【武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会】

- ・資料1 障害者手帳所持者数等の推移について
- ・資料2 障害者福祉関連決算額の推移について
- ・資料3 第6期障害福祉計画・障害児福祉計画目標値に対する令和3、4年度の実績について
- ・資料4 団体ヒアリングの結果について
- ・資料5 計画策定にあたって～改定のポイントと論点～

【武蔵野市地域自立支援協議会】

- ・資料6 令和5年度・令和6年度の武蔵野市地域自立支援協議会専門部会員名簿
- ・資料7 武蔵野市地域自立支援協議会専門部会開催要領（案）書
- ・資料8 武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会（地域自立支援協議会）
日程表

【参考資料】

- ・第1回 会議録

出席者（敬称略）

- 会 長・・・岩本操（武蔵野大学人間科学部人間科学科教授）
副会長・・・羽田野敦子（社会福祉法人武蔵野地域生活支援センターびーと副施設長）
委 員・・・安東博（武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員）
岩岡由美子（武蔵野市民生児童委員協議会第一地区会長）
久保田聡（明日の風法律事務所弁護士）
後藤耕士（社会福祉法人武蔵野ジョブアシストいんくる施設長）
佐藤資子（社会福祉法人武蔵野千川福祉会チャレンジャー所長）
杉本美乃（株式会社浩仁堂地域活動支援センターコット施設長）
立野信行（社会福祉法人おおぞら会あすはKids管理者）
中村美奈子（東京都多摩府中保健所保健対策課地域保健第二担当課長代理）
西村聡彦（市民公募委員）
長谷川圭（特定非営利活動法人ゆうあいセンター理事）
福本千晴（武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員）
山本紀之（特定非営利活動法人ミュー副理事長）
横山美江（社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会地域福祉推進係長）
- 事務局・・・山田（健康福祉部長）、田中（保健医療担当部長）、福山（地域支援課長）
長坂（相談支援担当課長）、齋藤（障害者福祉課長）、江波戸（保険年金課長）、
大浦（社会福祉法人武蔵野派遣副参事）、田口（障害者福祉センター長）
永田（障害者福祉課）、三浦（障害者福祉課）、湊上（障害者福祉課）
吉村（障害者福祉課）
- 傍 聴・・・7名

1. 開 会

- 部会長・・・本日は全員の委員が集まった。前回欠席の委員に自己紹介をお願いしたい。
- 委員・・・11年目になる。弁護士をしており、武蔵野市の様々な会議に出席している。当事者の家族でもあるので、気持ちも新たに頑張りたい。
- 委員・・・昨年9月から参加している。分からない事も多いが、少しでも役に立ちたい。

2. 配布資料確認

○事務局より配布資料の確認。資料3は2ページのもの3ページに変更になった。

3. 議事

障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会

(1) 障害者手帳所持者数の推移について

○事務局より資料1の説明。

身体障害者手帳の所持者数は全体的には微減。転出や死亡が原因と考えている。愛の手帳所持者は横ばい。精神障害者保健福祉手帳の所持者は増加傾向。自立支援医療（精神通院）の申請数は増加傾向。児童発達支援は横ばい、放課後等デイサービスは大きく伸びている状況である。

(2) 障害者福祉関連決算の推移について

○事務局より資料2の説明。

給付費は国が2分の1、都が4分の1、各自治体が4分の1という構成。介護・訓練等給付費が毎年2～4%伸びている。

(3) 第6期障害福祉計画・障害児福祉計画目標値に対する令和3、4年度の実績について

○事務局より資料3の説明。

障害者福祉サービスは全体的には堅調に提供された。市独自のショートステイ事業が低い。放課後等デイサービスは計画通り大幅増。地域生活支援事業では移動支援と日中一時がコロナで落ち込んだが回復傾向。移動支援は支援者不足。障害児支援では重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所を1か所ずつ開設した。他に重症心身障害児に対応できるパレットがある。医療的ケア児支援のためのコーディネーターを令和5年4月から健康課に配置した。

(4) 団体ヒアリングの結果について

○事務局より資料4の説明。

団体活動では場所の提供や担い手不足が課題。成人期デイサービスでは居場所や余暇活動プログラムの拡充。地域生活支援施設では重度化に対応した施設を希望する声があった。

委員・・・サービス・サポートが必要な人は精神障害の手帳を必ず持っているのか。放課後等デイサービス利用が増えている。実態調査では手帳を持っていない子にも郵送したと聞いたが、それとの関係性は。

部会長・・・精神保健福祉手帳の取得は必須ではない。

事務局・・・障害者総合支援法により、手帳はサービスを受ける要件ではない。

事務局・・・放課後等デイサービスの支給決定においては、手帳所持か医療機関での診断書があることが支給要件となる。

副会長・・・自立支援医療（精神通院）における申請者と受給者の伸び率の差はどう理解したらよいか。

事務局・・・申請件数は市で把握しており、受給者は都から報告された数字を使っている。令和2年度においてはコロナによる特例措置で1年間の有効期限延長措置が取られ更新申請が不要となった。そのため、延長措置で一度切れた人が再度申請したことによる差が大きく出ているのではないかと考えている。資格を持つ人と申請した人の年度ごとの差は、R4年になって揺り戻しが来ているのではないか。

部会長・・・必要な方に届いていないということがないようにしていただきたい。表記方法について1点お願いがある。目標値と実績がかけ離れている場合は、ただし書きを入れていただくとありがたい。実態が見えるようになると議論がしやすいし、計画検討の上でも助かる。

(5) 計画策定にあたって～改定のポイントと論点～

○事務局より資料5、前半の説明。

P.3の精神保健福祉法の改正、P.4の障害者総合支援法の改正、P.5の障害者差別解消法の施行、P.6の障害者雇用促進法の改正、P.7の障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法の施行、東京都手話言語条例の施行を紹介。

○事務局より資料5、論点1の説明。

委員・・・セルフプランでない方がいい。相談支援が入るのが理想だが、相談支援員にも力や意欲に差があるので、相談支援員を高いレベルで均一化できるといい。全員を集めて話し合う機会などがあることが望ましい。

部会長・・・人数が足りないという大きな課題と質の標準化を目指すという2つがある。セルフプランの場合、関係者が集まったりすることはあるのか。

事務局・・・障害種別、大人・子どもによっても違うが、マンパワーが足りなくてセルフプランという場合は、ケースワーカーを中心にサービス調整をして本人を含めた契約会議をするが、そうではないケースもある。

部会長・・・ケアプランの内容によって支給決定されるので、必要な方に相談支援が入っていないのは大きな問題。計画策定ではどうしたらよいか、ご意見いただきたい。

委員・・・セルフプランの何がダメなのか。

部会長・・・セルフプランが良いと希望している人についてではなく、相談専門員がいなくて支援が得られていない場合の課題であるという意見。

委員・・・P.19に福祉総合相談窓口とあるが、基幹相談支援センター等とどのような形で連携しているのか。

事務局・・・福祉総合相談窓口主催の庁内連携会議である、総合支援調整会議があり、定期的に参加している。個々の案件についても連絡を取っている。すべての案件に福祉総合相談窓口が係わるのは難しいので内容によっては他課に引継ぐ、そのひとつに障

害者福祉課がある。

○事務局より資料5、論点2の説明。

部会長・・・資料3で地域移行の実績が目標に比べて低い。コロナの影響もあると思うが理由はあるのか。

事務局・・・精神科の病院から地域へという場合と、知的障害者が入所施設から地域へという場合がある。精神では支援者が精神科の病院に行き、面談をするが、コロナ禍で病院に行くのが難しかった。一部オンライン面談もあったが、実績という点でコロナの影響は大きかった。

事務局・・・福祉施設入所者の場合は区分調査に行くのも困難だった。地域に戻りたいという直接的な意見が少ないという現状がある。

部会長・・・病院や施設の対応にはバラツキがある。地域移行が後退しないよう強化できるという。

委員・・・P25、地域移行で、「社会的入院や社会的入所を解消」とあるが、入院入所の手前の視点で考えることが大事。P29、特別支援学校の在籍者数が出ているが、通信等の学びの場を視野に入れると、もっと数が増えるのでは。

部会長・・・社会的入院・入所にならないための方策があるか、特別支援学校の在籍者以外にもニーズのある人がいるのではないかといったご質問である。

事務局・・・精神科の入院は治療目的で、社会的入院はそれが長期化して地域に帰る意欲さえなくなる点が問題。在宅生活を継続できるような地域定着支援、自立生活援助を使いながら、なるべく在宅で過ごしていけるようになることが望ましいと考えている。社会的入所はメインが知的で、家族の介護力だけでは在宅が難しく、家族を支えるサービス、社会資源の利用、ケースワーカーの知恵を借りて在宅生活を支えることが大事だが、家族でなければ難しい面もある。家族が高齢化すると入所という選択肢が多い現状である。

P29、特別支援学校以外にもニーズがあることも考えられるが、通信等は市の教育委員会のエリアを超えてしまい、人数の把握は難しい。B型と生活介護は特別支援学校の生徒が多い。

○事務局より資料5、論点3の説明。

部会長・・・P37、実態調査で「参加したい活動はない」が多いが、自分の活動が既にあるからなのか、他にあれば参加してみたいのか、どう読んだらよいのか。

事務局・・・推測だが、障害のある身で参加してよいのかといった心のブレーキを自分でかけているのかもしれない。障害のある方の参加が当たり前な共生社会への取組、啓発が求められている。

部会長・・・メンバー同士で余暇的なことをやっている人がいる可能性もある。その辺りが見えるとよい。

事務局・・・補足として、「参加したい活動はない」は高齢者の方に多い。身体障害の高齢者は大きな部分を占めるので、強く出てしまう。

○事務局より資料5、論点4及び5の説明。

委員・・・P42、心のバリアフリー啓発事業はどれくらいの規模かお伺いしたい。

事務局・・・委託事業で、年間6団体、多くて述べ1000人前後、コロナ禍では700人前後。主に小学校や市内の企業を対象に回っている。

部会長・・・初めての委員に感想、要望を伺いたい。

委員・・・説明は長いが、聞くことで理解ができた。

委員・・・相談支援体制に注目した。地域活動支援センターと指定相談事業所との役割分担を明確にしたい。活動支援拠点が始まるが、どうなるのか詳しく教えていただきたい。

委員・・・地域移行、論点2を参考にさせて頂いて取組を進めていきたい。

委員・・・もう少し早く資料を頂けると、丁寧に読むことができた。

委員・・・広い視点で練られていると心強く感じた。論点4の連携体制の整備では、そのための場を示して進めてほしい。災害時の人工呼吸器の方への支援を委託の形で進めているのは心強い。日常酸素を使っている人で、電源切れの際の対応がどうなっているのか気になった。

事務局・・・災害時個別支援計画で、在宅酸素使用者の把握はしているが、市職員体制の問題があるので優先順位をつけて対応している。

部会長・・・気になる点、分からない点は質問・意見票で出していきたい。3年毎の実態調査で変わらない項目があるが、足りない点は何かを考えながらご意見いただけるとありがたい。

地域自立支援協議会

(1) 令和5年度・令和6年度の武蔵野市地域自立支援協議会専門部会について

○事務局より資料6の説明。

委員・・・メンバーは決まり次第報告する。交流プロジェクトと集い語らいは一緒になっているので、名簿で表記されている区分線を消していただいた方がわかりやすい。

部会長・・・今までの当事者部会の機能である課題を挙げていただくこと、各専門部会に派遣していただくことに加え、地域の人との交流や理解促進は当事者中心でないとできないので、盛り込んだ形になり、人数も増やしたが、運営はやりやすい方法でよい。

事務局・・・内容を整理して、委員と情報を共有する。

(2) 武蔵野市地域自立支援協議会専門部会の開催要領について

○事務局より資料7の説明。

部会長・・・例年、全体会を年度初めに1回、年度末1回開催し、情報を共有して各部会の活動を進めてきたが、今年はスケジュールの関係で簡単な説明動画を作成して共有したい。7月には間に合わせたい。

委員・・・当事者部会についてだが、先週開催して、交流と集い語らいが似ているということになり、プロジェクトをひとつにして、プロジェクト担当と当事者を分ける形にした。

当事者が少なく、メンバーだけで何かを企画するのは難しいという話が出た。これからは当事者部会をもっと知ってもらうような企画を考えている。

部会長・・・親会の委員も人数を増やし、充実・強化していけたらと思う。

4. その他

事務局・・・質問・意見書は1週間程度でメールまたはファックスで事務局へ。

次回は7月31日（月）18：30から802会議室で開催予定。計画骨子を示し、中間のまとめとする予定。前回の会議録は、発言者の部分を消してHPに公開する予定。

5. 閉会